



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 SMC株式会社

コード番号 6273

URL <https://www.smcworld.com/ir.htm>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高田 芳樹

問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員経理部長

(氏名) 太田 昌宏 (TEL) 03-5207-8271

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	627,475	15.7	197,811	12.9	234,305	19.8	173,766	25.0
2022年3月期第3四半期	542,438	38.4	175,203	65.5	195,651	78.1	139,019	79.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 197,635百万円(18.2%) 2022年3月期第3四半期 167,254百万円(68.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	2,659.97	—
2022年3月期第3四半期	2,103.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,898,470	1,686,331	88.6
2022年3月期	1,769,951	1,559,274	87.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,682,591百万円 2022年3月期 1,555,628百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	300.00	—	450.00	750.00
2023年3月期	—	450.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	450.00	900.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	824,000	13.3	248,500	9.1	302,000	10.6	220,000	14.0	3,366.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.7をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注) 詳細は、添付資料P.7をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	67,369,359株	2022年3月期	67,369,359株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,220,356株	2022年3月期	2,029,013株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	65,326,089株	2022年3月期3Q	66,075,033株

(注) 取締役に対する株式報酬のための「役員向け株式給付信託」が保有する当社株式(2022年3月期3Q、2022年3月期及び2023年3月期3Q:2,600株)は、②期末自己株式数及び③期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(重要な後発事象)	7
3. 決算補足資料	8
(1) 仕向地別売上高	8
(2) 所在地別売上高	8
(3) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費	8
(4) 主要為替レート	8
(5) 連結従業員数	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から同年12月31日まで)においては、各国の経済活動がコロナ禍からの回復に向かい、製造業全般において設備投資意欲が回復いたしました。半導体を中心とする部品・素材の調達難、中国でのゼロコロナ政策による経済活動の停滞、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化、米中の緊張関係の高まり、欧米の政策金利引き上げ、急激な為替変動など、先行きの不透明な状況が継続しております。

自動制御機器の需要は、半導体・電機関連は、前半は高水準でしたが、後半は世界的なインフレや景気後退の影響などにより、欧米を中心に設備投資先送りの動きが見られました。自動車関連は、半導体等部品不足の影響が継続し本格的な回復には至りませんでした。各地域でEVバッテリー関連需要が伸びました。工作機械関連は、景気減速により一服感が見られました。医療機器関連、食品機械関連、その他の業種向けは、コロナ後の新たな省人化・自動化需要もあり、堅調に推移いたしました。

このような環境下において当社グループは、部品・素材の調達不足による生産への影響を低減するための様々な努力を継続しつつ、需要の伸長に対応した製品供給能力の確保と、BCP(事業継続計画)に基づく生産の複線化に向けて、積極的な設備投資を進め、当第3四半期に遠野第二工場及び釜石第五工場が完成いたしました。また、お客様のCO2排出量削減に大きく貢献できる、環境性能の高い新製品の開発や、販売活動におけるITを活用したグローバル連携の強化などの課題に引き続き取り組みました。

この結果、当社グループの売上高は、販売数量の増加と、為替変動に伴う海外販売分の増収を主要因として、627,475百万円(前年同四半期比15.7%増)となりました。運送費、人件費、IT関連費用等の増加により販売費及び一般管理費は増加いたしました。増収に伴う利益増加により営業利益は197,811百万円(同12.9%増)となりました。市場金利上昇による受取利息の増加や円安による為替差益の増加から、経常利益は234,305百万円(同19.8%増)、投資有価証券売却益の計上により、税金等調整前四半期純利益は237,022百万円(同21.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は173,766百万円(同25.0%増)となりました。

自己資本四半期純利益率(ROE)は、前年同四半期に比べて1.0ポイント上昇して10.7%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、1,898,470百万円(前連結会計年度末比128,519百万円増)となりました。

現金及び預金は、事業活動による利益の獲得や、主に当社単体で保有する外貨建預金に係る為替換算の影響による増加がありました。主に納税や自己株式取得、在庫積み増しや設備投資への資金充当により、608,996百万円(同75,837百万円減)となりました。

受取手形及び売掛金は、増収に伴う増加や、海外での外貨建販売分の為替換算による増加により、233,228百万円(同21,288百万円増)となりました。

棚卸資産は、売上の増加に伴う仕入の増加、及び制約が増している昨今のサプライチェーンの状況に対応するための部品・原材料在庫の戦略的な積み増しから、386,873百万円(同83,327百万円増)となりました。

有形固定資産は、売上の増加に対応するための生産余力確保や、製品供給の持続可能性を高めるBCPの強化を図る観点から、国内外で生産・物流設備への投資を拡大したほか、研究開発機能の向上や優秀な人材の確保を目的として研究開発拠点の移転先用地を取得したことなどにより、316,870百万円(同46,285百万円増)となりました。

(負債)

負債合計は、212,138百万円(前連結会計年度末比1,461百万円増)となりました。

支払手形及び買掛金は、売上の増加に応じて仕入が増加したことや部品・原材料の仕入を戦略的に増やしたことから、80,852百万円(同18,751百万円増)となりました。

未払法人税等は、納税により、26,029百万円(同18,753百万円減)となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益の獲得により利益剰余金が増加したこと、円安により為替換算調整勘定が114,891百万円(前連結会計年度末比26,997百万円増)となったことにより、1,686,331百万円(同127,057百万円増)となりました。

以上の通り、資産の増加率よりも資本の増加率が高くなった結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント上昇して88.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想については、2022年11月14日の「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した内容から変更しておりません。

なお当社は、2022年6月以降、ロシア子会社に対する輸出及び新規投資をすべて停止しております。将来、ロシアから完全に撤退すると仮定した場合、現地残余資産の回収に必要な現地当局の許認可が得られず、当社グループが保有しているロシア事業関連の資産が最大で130億円程度毀損するリスクがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	684,834	608,996
受取手形及び売掛金	211,939	233,228
有価証券	12,219	13,324
商品及び製品	130,829	155,333
仕掛品	25,574	29,718
原材料及び貯蔵品	147,141	201,821
その他	46,769	52,944
貸倒引当金	△901	△778
流動資産合計	1,258,406	1,294,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	91,705	123,351
機械装置及び運搬具（純額）	41,988	49,338
土地	74,775	83,185
その他（純額）	62,115	60,994
有形固定資産合計	270,584	316,870
無形固定資産		
無形固定資産	15,183	16,368
投資その他の資産		
投資有価証券	58,750	108,449
保険積立金	150,797	144,399
その他	17,892	19,289
貸倒引当金	△1,664	△1,495
投資その他の資産合計	225,776	270,642
固定資産合計	511,545	603,881
資産合計	1,769,951	1,898,470

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,101	80,852
短期借入金	6,987	7,291
未払法人税等	44,783	26,029
賞与引当金	5,350	10,230
引当金	—	2,213
その他	50,179	50,881
流動負債合計	169,403	177,499
固定負債		
長期借入金	4,556	5,471
役員退職慰労引当金	270	368
役員株式給付引当金	65	101
退職給付に係る負債	7,552	7,730
その他	28,829	20,967
固定負債合計	41,274	34,639
負債合計	210,677	212,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	61,005	61,005
資本剰余金	73,335	73,335
利益剰余金	1,430,285	1,545,242
自己株式	△109,136	△120,906
株主資本合計	1,455,489	1,558,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,235	7,948
為替換算調整勘定	87,893	114,891
退職給付に係る調整累計額	1,010	1,074
その他の包括利益累計額合計	100,139	123,914
非支配株主持分	3,645	3,740
純資産合計	1,559,274	1,686,331
負債純資産合計	1,769,951	1,898,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	542,438	627,475
売上原価	267,588	307,421
売上総利益	274,850	320,054
販売費及び一般管理費	99,647	122,242
営業利益	175,203	197,811
営業外収益		
受取利息	4,905	8,076
為替差益	12,166	26,087
その他	3,724	2,581
営業外収益合計	20,796	36,745
営業外費用		
支払利息	139	88
保険積立金運用損	—	80
その他	210	83
営業外費用合計	349	251
経常利益	195,651	234,305
特別利益		
固定資産売却益	227	128
投資有価証券売却益	243	3,174
その他	26	7
特別利益合計	497	3,309
特別損失		
固定資産売却損	8	3
固定資産除却損	303	310
減損損失	214	—
特別退職金	—	273
その他	22	6
特別損失合計	547	592
税金等調整前四半期純利益	195,600	237,022
法人税等	56,411	63,149
四半期純利益	139,188	173,873
非支配株主に帰属する四半期純利益	169	107
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,019	173,766

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
四半期純利益	139,188	173,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,263	△3,293
為替換算調整勘定	26,894	26,991
退職給付に係る調整額	△92	63
その他の包括利益合計	28,065	23,762
四半期包括利益	167,254	197,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,036	197,541
非支配株主に係る四半期包括利益	218	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、一部の連結子会社の税金費用については当該見積実効税率に代えて法定実効税率により計算し、繰延税金資産については回収見込額を合理的に見積り、その範囲内で計上しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 決算補足資料

(1) 仕向地別売上高

(単位：百万円)

日本	米国	中国	アジア (中国を除く)	欧州	その他	合計
134,743	71,533	174,234	112,492	103,453	31,018	627,475

(注) 上記は顧客の所在地別の売上高であります。日本、米国、中国(香港を含む)の売上高は、連結売上高の10%以上であるため、国単位で区分して表示しております。

(2) 所在地別売上高

(単位：百万円)

日本	北米	欧州	中華圏	その他アジア	その他	合計
140,559	96,037	100,076	183,946	94,495	12,359	627,475

(注) 上記は当社及び連結子会社の所在地別の売上高であります。「北米」には米国、カナダ、メキシコ、「中華圏」には中国(香港を含む)、台湾の売上高が含まれております。

(3) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費

(単位：百万円)

	2023年3月期第3四半期(累計)		2023年3月期(予想)	
	金額	対前年同四半期 増減率	金額	対前期増減率
設備投資額	61,485	△6.4%	120,000	43.7%
減価償却費	18,819	24.7%	26,000	26.5%
研究開発費	20,149	15.6%	27,000	15.1%

(4) 主要為替レート

	2023年3月期第3四半期		2023年3月期
	平均レート	期末日レート	予想平均レート
U S \$	136円59銭	134円18銭	138円00銭
E U R	140円68銭	142円53銭	139円00銭
人 民 元	19円88銭	19円18銭	19円80銭

(5) 連結従業員数

(単位：人)

	2023年3月期第3四半期	前期(末)比増減
従業員(期末)	23,014	1,394
臨時従業員(期中平均)	6,239	609

以 上